飯豊中学校３学年　特別教室

地方公共団体に私たち住民の意見を伝えよう

～届け！我らの願い～

日　　時　令和３年２月25日（木）午前９時45分～11時35分
場　　所　北上市立飯豊中学校　体育館
実施団体　北上市立飯豊中学校３学年104名

公民の授業の一環として、３学年の生徒全員が、北上市について提案・要望等の意見をまとめました。
当日は、市長から市の取り組みなどについて講話を行ったのち、代表生徒が要望内容を発表し、市長が回答しました。

市長あいさつ

皆さん、進路は決まりましたか。受験に向けて一生懸命勉強している人もいるでしょうね。ぜひ目標を達成できるように頑張ってください。

今日はその先にあることを少しだけ考えていただければいいなと思っています。皆さんのお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、先生方や地域の方々など、先輩たちが築いてきたこのまちを、皆さんの思いで引き継いでほしいです。

▶市長が北上市について講話しました

◀授業を担当する伊藤先生から、飯豊中生のまちづくりへの意識調査について情報提供いただきました

（市長）先生からの情報提供によると、飯豊中学校３年生の93％が「いい国、まちづくりに貢献したいと思っている」ということだそうで、大変頼もしく思っています。

一方、50％ほどが、貢献したいという思いはあっても「どう関わったらいいのかわからない」という回答だったようです。ほかの中学生も同じような傾向だと聞きます。

今日の特別授業の中で、何らかのヒントを得ていただけたらいいなと思います。

要望・提案の発表

生徒を代表して、9名が市への要望や提案、質問を発表し、市長が回答しました。

自然を守るボランティアを活発にしてほしい

生徒：北上市は交通の便もよく、伝統や自然が多いとても住み心地のいいまちです。

近年、大きな企業などが北上に進出し、田んぼが埋め立てられ、アパートなども増えています。北上市の自然を守るために、小中学生による植林活動や公園整備のボランティアを活発にしてほしいと思います。

市長：ボランティアとは、正しくは「志願する」ということが語源だそうです。誰かにやってほしいと募集するのではなく、本来は何かに気づいた人が、自分から手を挙げるものです。これから「ボランティア」という言葉に触れる時に、ぜひ覚えておいてください。

（市長）さて、ご提案は自然保護に関するものでした。様々な企業が次々進出し、工事をしている途中なので、現在は殺伐としている印象を受けるかもしれません。

ただし、今後、沿道に花を植えたり、木を植えたりといった植栽も進みますし、企業の皆さんも自分たちが仕事をする環境を良くしていくために、緑を増やす取り組みを進めたりしますので、だんだんと美しい景観になっていくと思います。

その際に地域に住む皆さんも、手をかけて、きれいにしていくという参加をしていただければ、まさに「まち育て」となります。

自分で気づいたことがあれば、ぜひ仲間を見つけて、行動してほしいと思います。それが目に付けば、応援してくれる人も増えていくと思いますし、行政も応援していきます。

今の、ボランティアをしたいという気持ちを大切に過ごしていってほしいと思います。

村崎野駅に西側からも入れるようにしてほしい

生徒：現在の村崎野駅は、東側からしか入ることができません。

私は西側に住んでいるので、踏切を渡らなければなりません。時間に余裕をもって出ても、遮断機が下りていると時間がかかってしまいます。

ぜひ西側からも出入りできるようにしてほしいです。

市長：村崎野駅が東側からしか入れないことや、周辺道路が狭いといったようなご意見はいただいたことがあります。

北工業団地が拡張され、住宅も増え、村崎野駅のニーズも増えてくるかもしれません。

ぜひ、お家の方や、地域の方、お友達などと積極的に話題にして、飯豊地区の皆さんの大きな声にしてほしいです。それが、実現に向けての大きな一歩となります。

バスの本数や路線を増やしてほしい

生徒：高校生になったら、駅や学校までのバスが必要になります。また、私たちだけではなく、近年高齢者の運転による事故が多くなっていると言われているので、高齢者の方にとっても必要性が高いと思います。

市長：北上市は東西南北にJRが走り、バス路線も同じようにあります。そこから外れるところには市がコミュニティバス「おに丸号」を走らせるなどの取り組みを（←）

（市長）行っています。おに丸号は、現在の利用者数では週に2～3日の運行しかできませんが、もっと利用していただけるようになれば、増便できるのではないかと思っています。まずは、ぜひ、皆さんに積極的に利用いただきたいです。

また、北上市では、地域と地域をつなぐ「拠点間交通」の実現に向けて取り組んでいます。公共交通は大きな課題の一つとなっていますが、ぜひ積極的に利用し、応援してください。

国道4号線に歩道橋などの安全に通行できる方策がほしい

生徒：少し前に、小学生の子どもが国道4号の十字路で交通事故によって亡くなりました。私たちの通学路でもあり、通行中に危険だなと感じることが多くあります。中学生だけでなく、その道を通る小学生や一般の方々も安心して通ることができるようにしてほしいです。

市長：本当に痛ましい事故でした。国道ですので、管理は国が行っていますが、交差点の改良などの対策を行っているようです。

今、国道は花巻まで4車線にしようと設計中です。歩道橋の設置などには、通行量などの必要な条件もあるようなので、それを調べながら、提案していきたいと思います。良いアイデアをありがとうございました。

さくら野周辺にもっとお店を増やしてほしい

生徒：さくら野の周辺には、使われていない建物やシャッターが下りている建物がたくさんあります。それらを利用して、活気があるまちに発展させてほしいです。

市長：同じように感じている方も多いと思います。これも北上市の昔からの課題のひとつです。中心市街地を元気にしようと様々な手を打ってきました。その一つが「さくら野百貨店」です。

（市長）地域の人と行政が話し合い、大きな商業施設を作りました。

そこを中心に周遊することを想定しましたが、まちの中の人の動きと合致せず、車で行きやすい郊外の大型店へ人の流れができてしまいました。人の流れがなければ、お店をやめてしまう人も出てきます。

ただし、今、北上市はチャンスを迎えていて、企業が多く立地し、街中にも人が住み、行きかうようになって、元気を取り戻しつつあります。これをもっと促進して、空き店舗や空き家の活用につなげ、魅力あるまちづくりを進めたいと思います。

特に、自分で経営してみたいという意識のある方々には、チャレンジショップのようなスペースもありますし、行政でも補助制度を用意しています。

皆さんも、中心市街地を歩くときには、どんな街並みだったらいいか、どんな機能があったらいいか、想像しながら歩いてほしいと思います。

大きな球場を作ってほしい

生徒：私は野球部で、多くの球場で試合をしてきましたが、県営球場で投げてすごく気持ちが良かったので、北上にも大きな球場があればいいと思いました。

北上にはたくさん働くところがあるので、プロ野球も呼べるような大きな球場があれば、更に住みよいまちにつながると思います。

市長：北上市には大きな球場がない、というご意見を伺うことはよくあります。

現在、北上市では、江釣子球場で電光掲示板やブルペン、バックスタンドの整備などのリニューアルを進めています。県営球場のような大きな球場を北上市で運営していくのは大変ですが、まずは、リニューアルする江釣子球場を十分にご活用ください。

スポーツを楽しむ環境としては、スケートボードができるスペースの整備などの検討も進めていますので、ぜひ、スポーツ推進計画をご覧ください。

子どもの医療費を無料にしてほしい

生徒：北上市の隣の花巻市では、中学生までの医療費が無償化されています。北上市でも同じように無償化すれば、子どもの数も増えるのではないでしょうか。

例えば、インフルエンザの予防接種は、今年は中学3年生が減額の対象となっていましたが、それでも、経済的に苦しい家庭は予防接種を受けられません。そのような状況は不平等であると考えます。

市長：医療費は無料のほうがいい、というのはよくわかります。そうしたいのは山々です。

医療制度は国の制度ですので、北上市としては、中学生までは無料にしてほしいと国に要望しています。現在は自治体によって、どこに予算をかけるかということが異なる状況にあります。北上市では、医療費を無料にする対象は高校生まで拡大していますが、所得制限を設けています。

更に制度の対象者を拡大する（市長）ためには、財源を用意する必要があります。そうなると、別の事業ができなくなることもあり得ます。ここは、今後もよく研究をしていきたいと思います。

子育て支援としては、医療費の無償化以外にも、様々な事業を行っています。

令和3年度の予算では、これまで行っていた子育て家庭向けの「子育て応援1億円」、子どもたちの学習環境などを整える「子育ち応援1億円」の合計2億円の予算に加えて、3人以上の子どもがいる「多子世帯」への支援金1億円と合わせて、「子ども未来投資枠3億円」と銘打って取り組むことにしています。

また、さくら野の西館には、子育て支援の拠点になる新しい施設「hokko」がオープン予定です。

これからも国へ要望していくとともに、子育て世代への様々な形での支援を続けていきたいと思っています。

hokko

細い道路も除雪してほしい

生徒：今年はとても雪が多く、通学にもとても苦労をしました。

特に細い道では除雪車が来ず、道路幅が狭くなり、事故が起きそうだと思うこともありました。大きい道だけではなく、細い道でも除雪をしてほしいです。

市長：今年は特に雪が多かったので、除雪に関する要望はとても多かったです。除雪だけではなく、排雪も追いつかず、道幅が狭くなって、市民の皆さんにもご苦労をおかけしました。

担当する部署では、たくさんの問い合わせや依頼に対応し、現場を確認しながら進めています。今年の経験を生かして仕組みも改善していきたいと思います。

市長の1日のスケジュールを教えてほしい

生徒：市長さんがどんな1日を過ごすのか教えてください。私も市長を目指したいです。

市長：今日のスケジュールについて紹介します。

私はまず、朝5時に起きてストレッチをしてから、ランニングに出かけ4～5キロほど走ります。帰ってきてシャワーを浴び、朝ご飯を食べて、朝ドラを見終わったら、市役所に出勤します。

8時半から執務を開始しますが、まずは秘書とスケジュールを打ち合わせ、会議などがあれば資料の確認をします。今日の午前は皆さんとの特別授業がありましたので、どんな質問や意見があるか、講義をするかなど、最終確認をしました。

今日の午後は、「基本構想等審議会」という、北上市の総合計画について「これでいいよ」と決定してくれる会があるのですが、その会に来年度の予算などを報告することにしています。

コロナ禍でなければ、夜にも会合や懇親会が入ることが多いのですが、今年度はほとんどありませんので、17時15分で執務を終えて、自宅に帰ります。自宅では、腹筋をしたりして、体力の維持に努めています。

（→）

（市長）市長になるためには、みんなのためになることをいつも考え続けなければなりません。ぜひ頑張ってください。

まとめ

伊藤先生：これまでの市長のお答えを聞いていると、要望をわかりやすく伝えていくことや、利用者や協力者を増やしていくということが大切と感じました。

今日はこのような機会を得て、市長さんへ意見を届けることができましたが、今後生活していくうえで、何か意見を届けたいという場合には、どうしたらいいですか。

市長：要望の声が大きく、ニーズのあるものには国や県も含め予算が付きやすく、我々も取り組みやすくなります。地域の皆さんが共感しあい、スクラムを組めるように取り組んでほしいです。

何か意見を届けたいという場合は、本日担当した企画部の政策企画課へお寄せください。

生徒からの感想

生徒：今日は市長に私たちの要望について回答していただき、貴重な体験をしました。

今日の経験を、これからの生活に生かしていきたいと思いました。ありがとうございました。

生徒：今日の時間を通して、北上市について理解を深め、魅力の再発見をすることができました。

選挙権のない私たちでも、北上市のためにこのような方法でまちづくりに貢献していけると学びました。

以前、北上市長に九州豪雨への募金をお渡ししました。このような募金などの活動は、後輩たちに引き継いでいます。些細なことでも地域のために活動をすることができると改めて思いましたし、これからも続けていきたいと思います。

▶飯豊中3学年の皆さんに、市から感謝状を贈呈しました。

市長からのメッセージ

素晴らしいご意見をたくさんいただき、北上市の未来に希望を感じました。

皆さんの人生が豊かになることをお祈りします。ありがとうございました。

Kita Coming!
北上市

飯豊中学校３学年の皆さん、ありがとうございました！

お問い合わせ

北上市企画部政策企画課　政策マーケティング係

0197-72-8229　kikaku@city.kitakami.iwate.jp